

# 3 大学・短大と企業コラボ

飯塚市でカレッジフェス

オブジェ制作や名物料理アレンジ

近畿大の学生が光和建設と協力して作ったオブジェ



飯塚市にある近畿大と近畿大九州短期大、九州工業大の学生と地場企業が協力して考案した料理や雑貨を販売する「飯塚カレッジフェス」が20日、同市枝国のイオン穂波ショッピングセンター駐車場であった。学生が地域の魅力に気づ

き、企業が地元で学んでいる若者の活力を感じる機会を設けようと、飯塚青年会議所(JC)が初めて企画。17社・団体と学生が参加した。このうち近畿大の学生は、光和建設(嘉麻市)と「思い出の森」をテーマに

したオブジェを制作した。同社が改修工事を手掛けた嘉麻市内の小学校の古い窓枠やドアを活用。プロジェクトリーダーを務めた同大大学院1年の永友裕子さん(22)は「設計士を目指して勉強しているが、普段は机に向かうばかり。企業の人たちが親身にアドバイスしてくれてイメージ通りに作ることができた」と喜んでいた。

飯塚市の飲食店「有門亭」は、学生たちと意見を交わし、名物「昭和のホルモン鍋」をイタリアン風にアレンジ。同市の「パームハウスフチガミ花店」は学生と一緒に、ドライフラワーを使ったハーバリウム(植物標本)や携帯電話のケースを作る体験教室を開き、多くの人が参加した。

(田中早紀)